

令和 6 年 1 月 25 日

能登半島地震における被災地支援のため、当院からも
DMAT(災害医療派遣チーム)が派遣されることになりました。

令和 6 年能登半島地震において、厚生労働省 DMAT 事務局を通じて宮崎県から県内の DMAT チームに派遣要請があり、当院においては、隊員 5 名（医師 1 名、看護師 2 名、業務調整員（理学療法士・作業療法士）2 名）を派遣することとなり、1 月 24 日に出発式を行いました。



※左から、①牧原医師②大坪看護師③高橋看護師④原田業務調整員⑤吹井業務調整員

濱砂理事長・森山院長から DMAT 隊員 5 名へ激励の言葉が述べられ、派遣隊員を代表して隊長の救急科 牧原医師より「今回で被災地支援活動は 5 回目。隊員の安全を一番に考え、今までの経験を活かし、被災者に寄り添った支援活動を行ってきます。」と抱負が述べられました。



濱砂理事長



森山院長



DMAT 隊長
牧原医師

派遣隊員らは（移動を含めた期間：1 月 25 日～30 日）、石川県穴水町にある保健医療福祉調整本部を拠点に、避難所等で医療活動を行います。